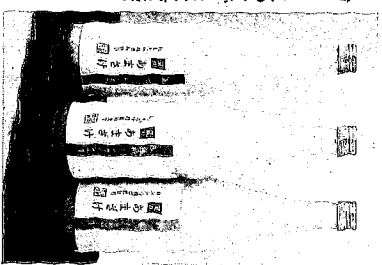


グイノスやまざきとヨシコシ

ワインの輸入販売を手がけるグイノスやまざき(静岡市)と、清涼飲料製造の子会社を持つ不動産業のヨシコシが静岡県内の酒造会社と組む。県産の甘酒ブランドを立ち上げる。純米大吟醸の酒かきを使い、付加価値の高い甘酒として売り出す。消費者の健康志向が高まる中、地元クワイを前面にした甘酒で土産物としての需要を狙う。同時に、酒造る静岡の認知度向上を図る。

ブランド名は「蔵のおまざき」。銘柄は県内の有力な酒造メーカー、土井酒造場(掛川市)の「開運」、三和酒造(静岡市)

3酒造連携、3種投入

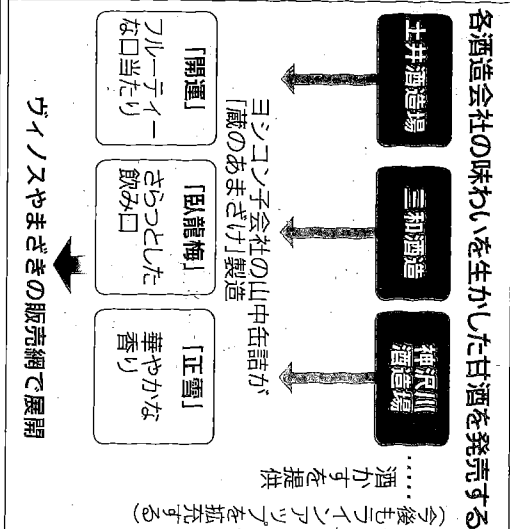


「取龍梅(りゅうばい)」「純米大吟醸(じゆんばい)」「開運(かいゆん)」の3種を投入する。グイノスやまざきによる、1つの甘酒の純一したブランドの下で3つの酒造会社が同時に発売するのは珍しいとい

県産甘酒 統一ブランド

純米大吟醸 酒かす使っ

社化した清涼飲料水製造・販売の山中佐詰(綾井別)。まずは12月28日に3種合わせて限定1万本を発売する。グイノスが1年後になる見通し。酒造のセプト販売など、中央にもと、夏場商社としての冷やし甘酒の認知度が向上し、甘酒の市場規模は2015年には12億円だったが、17年には110億円に伸びる。消費者の健康志向の高まりを受けて市場を占める。



純米大吟醸の酒が1リットル1200円(税別)。まずは12月28日に3種合わせて限定1万本を発売する。グイノスが1年後になる見通し。酒造のセプト販売など、中央にもと、夏場商社としての冷やし甘酒の認知度が向上し、甘酒の市場規模は2015年には12億円だったが、17年には110億円に伸びる。消費者の健康志向の高まりを受けて市場を占める。

社化した清涼飲料水製造・販売の山中佐詰(綾井別)。まずは12月28日に3種合わせて限定1万本を発売する。グイノスが1年後になる見通し。酒造のセプト販売など、中央にもと、夏場商社としての冷やし甘酒の認知度が向上し、甘酒の市場規模は2015年には12億円だったが、17年には110億円に伸びる。消費者の健康志向の高まりを受けて市場を占める。